

検査の重要性

院長 多田 蘇音



美と健康をサポートする多田クリニック



すべての病気は、早期発見・早期治療

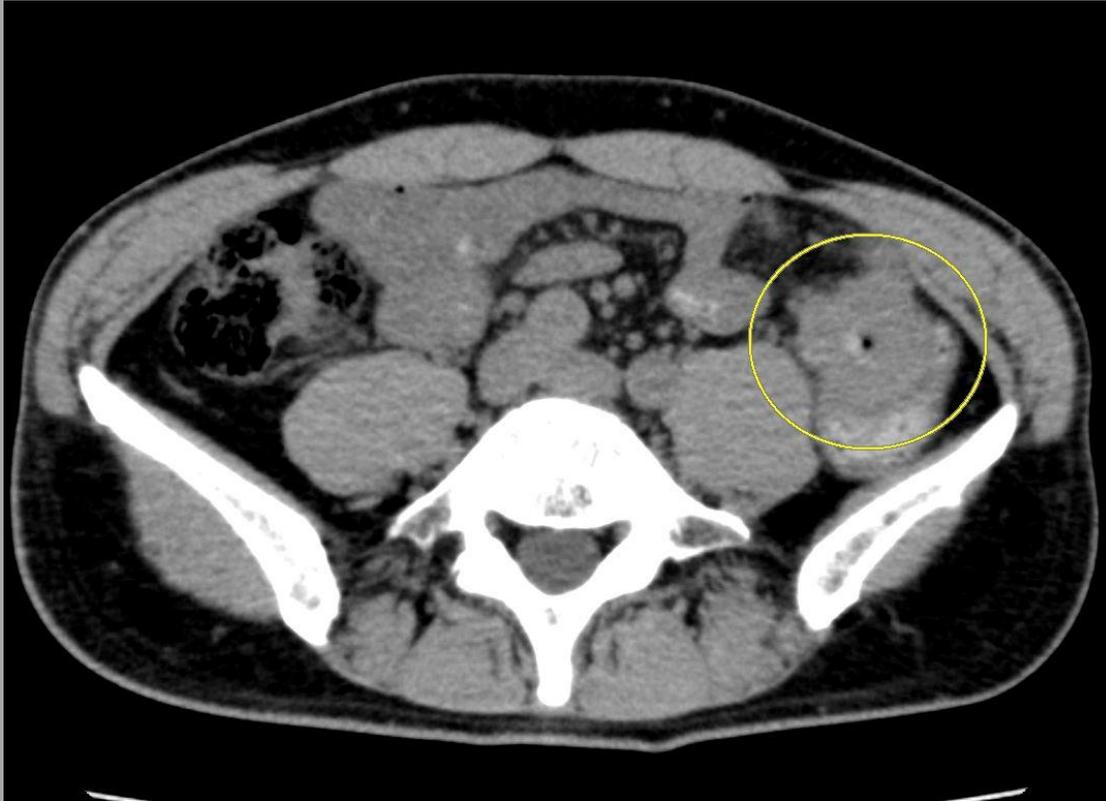
- ほとんどの病気は、**初期では無症状**。進行して、末期にならないとほとんどの症状が表れない
- その時、症状が現れても、ご認識されたり、重視されなかったり、受診のタイミングを遅らせる。
- 特に、慢性経過の場合：体もゆっくり慣れてきて、自覚症状が非常に漠然としていて、はっきりしない。
- 我々のほとんどの臓器は、「**沈黙な臓器**」
- 臓器の中には、ほとんど知覚神経が少ないことが理由と考えられるが、表にある神経に触れたり、圧迫したりしない限り症状が現れにくいと考えられる。

当院での経験：大腸がんの肝転移

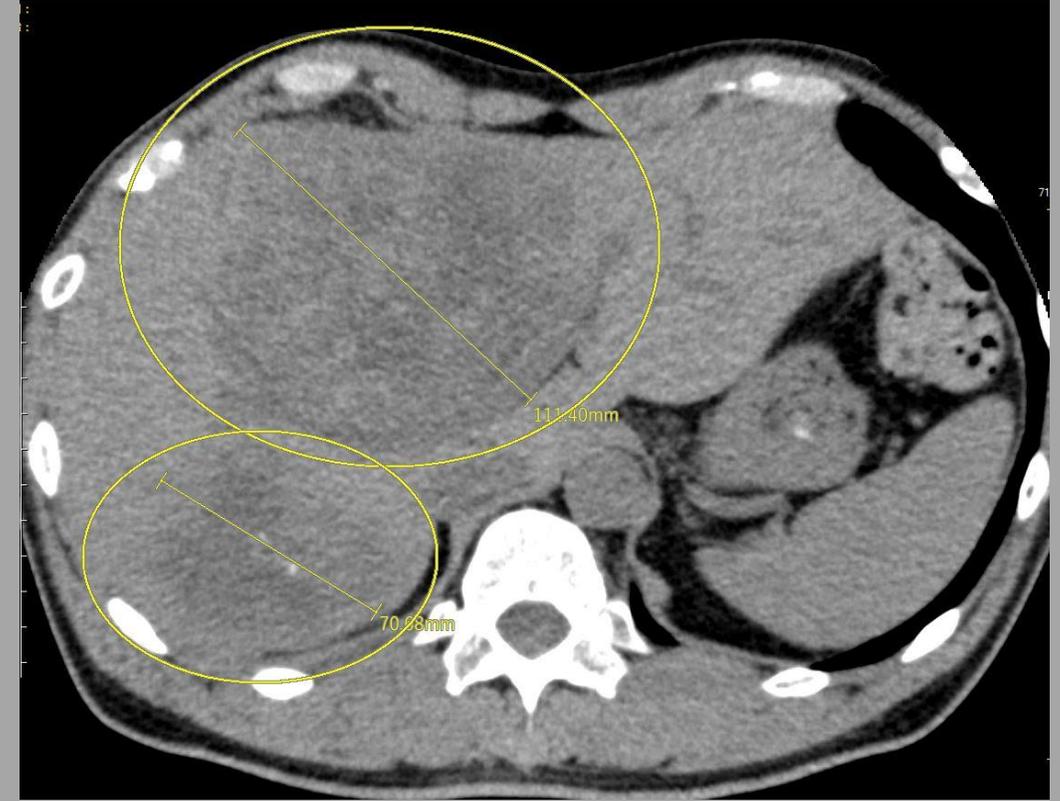
・大腸がんの肝転移の1例：

- ▶原発巣の大腸では、大きな腫瘍ができており、大腸の内腔も狭窄を来しており、更に、肝臓にも多くの転移巣ができた方でも、自覚症状としては、倦怠感、便秘程度です。ほかの医院さんでは、**検査されず、ただ、便秘薬を処方**されていて、今回は、便秘治療のために当院に初診されました。
- ▶**便線が細く、持続する倦怠感、疲労感**→内科専門医としての**第一直感**から、まず「大腸がん」を疑った。**初診ですぐにCTを撮影した。**

当院での経験：大腸がんの肝転移



下行結腸に直径5cm大の腫瘍ができて、すでに大腸内腔に突出して、圧排している。そのため、便線も細く、排便困難、便秘症状が出ている。



肝臓に大きな転移巣が4つもできて、大きいものの直径は10cm前後であった。それでも、肝機能異常がなく、臨床検査値は正常範囲内であった。

当院での経験：2型糖尿病+卵巣奇形腫

- 糖尿病・高度の脂肪肝及び卵巣の成熟奇形腫の1例：
 - 数年前にほかの医院で指摘も治療中断して、放置。当院で受診時にすでに、HbA1c 11台
 - 脂肪肝が高度
 - CTでは、左の卵巣の7cm台の奇形腫
- しかし、この状態でも、本人さまは全くの無症状。
- これは、糖尿病の怖いところでもある。知らないうちに進行！
- 内蔵(特に、骨盤内の臓器)は、ほとんど無症状、“沈黙な臓器”

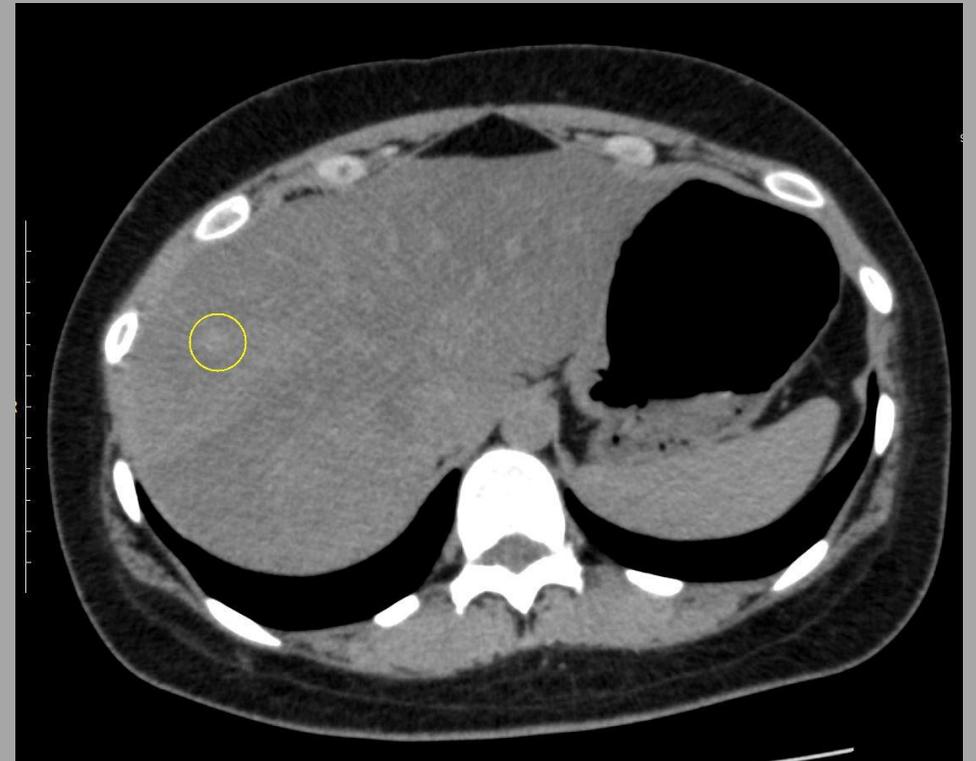
鉄則

高血糖・糖尿病が分かった時点で、1度腹部CTを。
脂肪肝の有無、糖尿病は、膵臓がん、大腸がんなど多くの癌の合併リスクを増大

当院での経験：2型糖尿病+卵巣奇形腫



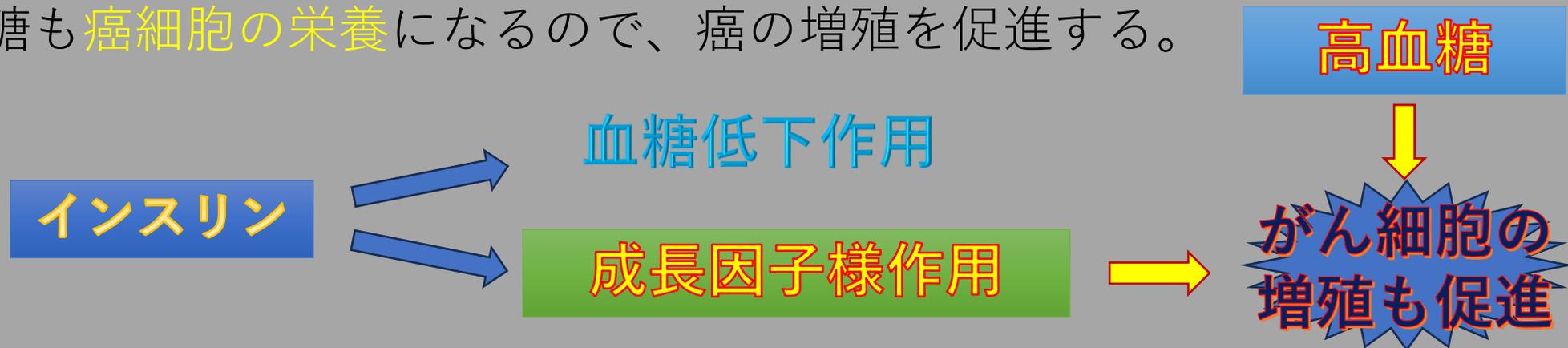
卵巣の奇形腫が疑われた



肝臓(S8)にも転移巣が疑われたような高吸収領域

糖尿病と癌とインスリン

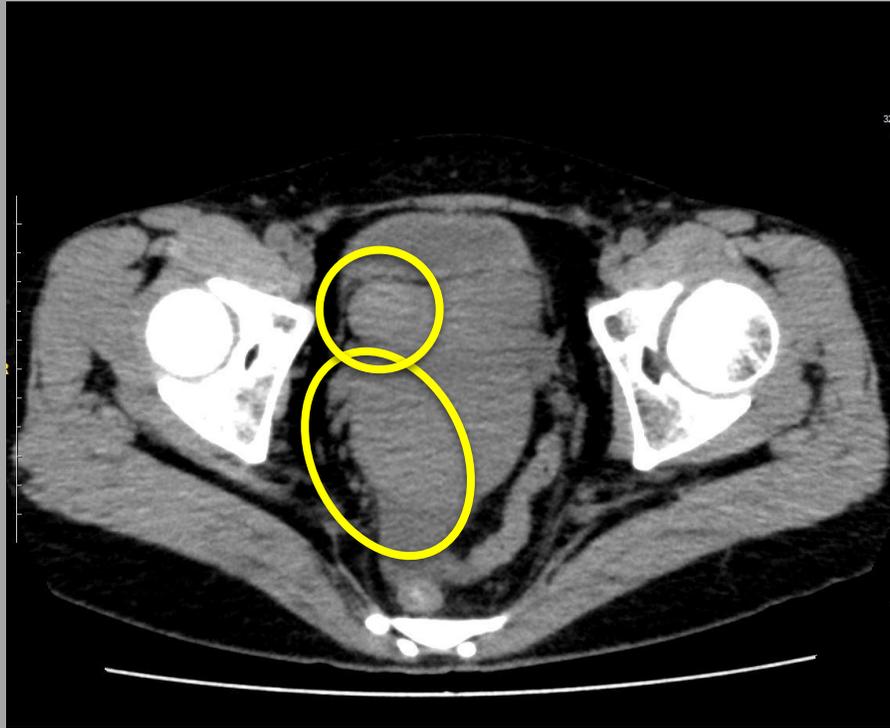
- **糖尿病**は、ほとんどの癌の発生のリスクファクターとなる。
- 糖尿病では、特に最も多い2型糖尿病では、糖毒性、肥満や内臓脂肪、脂肪筋などの原因で、**インスリン抵抗性が強**くなります。つまり、インスリンを分泌してもしても、効き目が悪いため、ますますたくさんのインスリンを分泌するという悪循環
- インスリンには、血糖降下作用のほか、**成長因子**でもあるので、高インスリン血症の状態では、癌細胞の増殖も促進される。
- 高血糖も**癌細胞の栄養**になるので、癌の増殖を促進する。



当院での経験：重度の貧血の1例

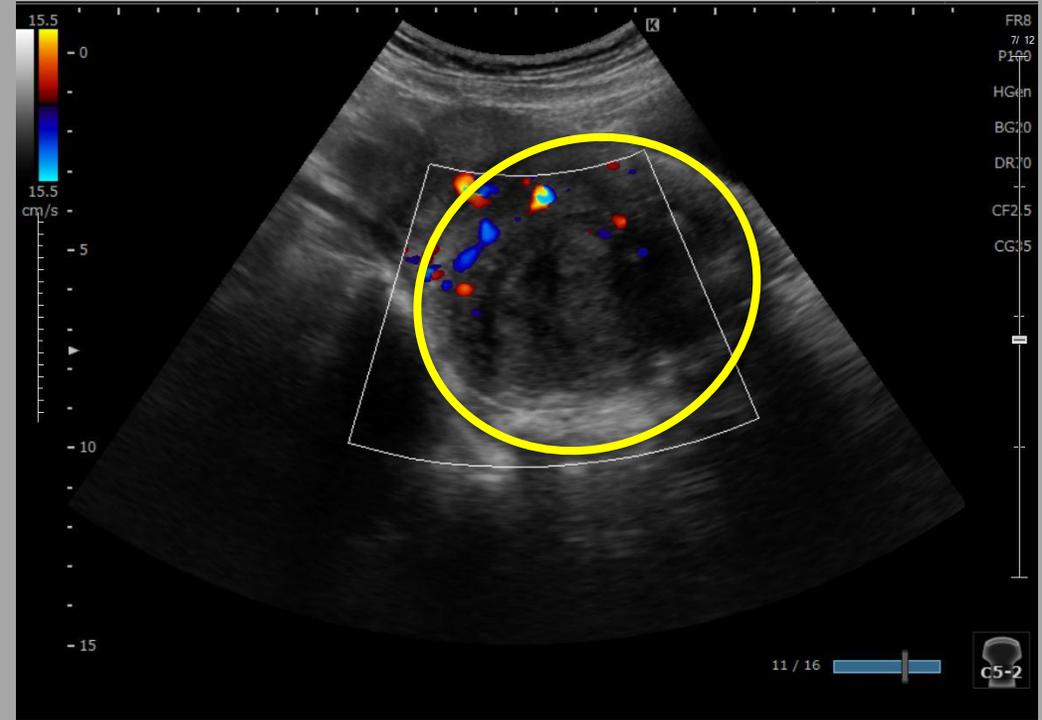
- 倦怠感、疲労感の訴えで来院された40歳代の女性：
 - 主訴：疲労感、階段で息切れ程度。ほかの主訴もなし
 - 眼瞼結膜：蒼白
 - 生理も順調で、やや量が多いほう
- 単純に、訴えだけから見て、あまり重症度を感じないかもしれないが、検査をしてみると驚異的な結果が判明された。
 - Hb(ヘモグロビン)：3-4台(通常：12-14)
 - CT・超音波: 5-6cm大の子宮筋腫が疑われた。
 - 詳細に問診を進めると、実は、月経過多。以前も貧血があって、2年前から一度Hb 7まで低下したことがあって、頻脈、動悸もあった。
 - 婦人科受診なし、ほとんど無治療な状態。
- 婦人科に紹介して、手術すること運びとなった。

子宮筋腫のCT・エコー画像



腹部CT：

- 子宮底部及び右側壁の高吸収域
- 子宮筋腫が疑われた。



腹部エコー：

- 5cm大の筋腫、内部不均一の低エコー域、内部血流なし
- 子宮筋腫が疑われた。

結語

- すべての病気は、早期発見、早期介入、早期治療
- 人体は、基本的に、「沈黙な臓器」。耐えられなくなったとき、初めて、悲鳴をあげる。それまでは、ほとんどサインも前兆も出さない。
- 自覚症状は、ほとんど漠然で、非典型的で、症候だけでなかなか診断・鑑別が困難。
- 自覚症状があっても、見過ごされたり、加齢による生理的な変化と誤解されたりすることがある。
- ちょっとした不調・自覚があれば、早期にターゲットを絞った検査を進めないと、なかなかわからないことが多い。